

島根



松江支局

〒690-0886 松江市母衣町95-1

☎0852-23-1411 FAX 23-1413

浜田支局

〒697-0027 浜田市殿町17-3

損保ジャパン日本興亜浜田ビル4F

☎0855-22-1101 FAX 22-1102

出雲通信部

☎0853-22-3388

大田通信部

☎0854-82-0451

益田通信部

☎0856-23-7331

ホームページ

<http://www.yomiuri.co.jp/local/shimane/>

販売のご用は ☎0852-38-8202

広告のご用は ☎0852-21-5718

折込広告は ☎0852-38-8200



お灸でカラダがhotする

せんねん灸

商品のお求めは 薬局・薬店で

<http://sennennq.co.jp> ☎0120-78-1009

長久保赤水の地図を取材して

取材現場

竹島問題 新たな啓発法を

茨城県高萩市

で4月27日、竹

島(隠岐の島町)

を記した最古の

日本地図など約

20点を撮影する作業を取材し

た。竹島の領有権を裏付ける資

料を、日本国際問

題研究所(東京都

がデータベース化

するのが目的だ。

地図はすべて水

戸藩の地理学者・

長久保赤水(1717-180

1年)が手がけたもの。「日本

図」などには、隠岐諸島の西側

に竹島がしっかりと描かれてい

た。「江戸時代に東日本の人が

竹島を知っていた」と認識して

いたものの実物を見ると感慨深

いものがあった。

「赤水は、藩主の侍講として

政策提言をするほどだった。

国防や海防に対する意識も高

く、竹島も十分に認識してい

た。撮影に同席した同市の

長久保赤水顕彰会

の会長を務める佐

川春久さん(68)は

そう説明してくれ

た。

松江から来たこ

とを告げると、佐川さんは20

14年に「竹島の日」の式典に

出席したという。竹島に関する

資料を提供したとして、島根県

が、赤水の子孫・長久保甫さん

(故人)を表彰した際、長久保

さんの代理を務めた。「赤水の功績を誇らしく思ったのと同時に、日本の領土問題について改めて意識するようになった」と佐川さんはいう。

今回の事業は、「領土問題を主張する際の論拠とした」という外務省の補助金も得ている。佐川さんは「せっかくだきた縁だし、島根でも赤水を知ってもらえたらいいね」と話した。

島根に来て1年が過ぎた。県は竹島問題を啓発しているが、取材を通して、県民が竹島問題に関わる難しさを感じている。赤水の功績を伝える人から地図の説明を聞くなどすれば、実感が湧くのではないか。県にも新たな啓発方法を考えてもらいたい。

(安恒勇氣)